

生徒1人ひとりが輝き、自己肯定感をもてる研究発表会の開催に向けて

(1) 発表用ポスターの作成

玉高ポスター統一様式

本校では様式を統一して、内容に時間をかけてます。

(2) ポスター発表の直前練習



直前まで、ホームルームで生徒どうし交代で発表練習しています。

(3) ポスター発表会



生き生きと、1年間の研究成果を発表しています。審査&アドバイスカードも熱心に書いています。
英語の発表に挑戦！ 実物や資料を見せて発表！ 質疑にも精一杯応答！

ポスター番号「6」の設置位置に、AとBの2つポスターが配置されます。

中央のポスターを貼付した段ボール板2枚を養生テープで貼り付けて三角に立てます。

発表と質疑応答の後、「審査&アドバイスカード」で、多くの聴き手から評価とアドバイスをいただきます。

壁際のポスターを貼付した段ボール板は、重ねて設置します。A回とB回で入れ替えます。

令和2年度 発行
発行者 岡山県立玉島高等学校 SSH推進室
〒713-8121 岡山県倉敷市玉島阿賀崎3-1-1
TEL086-522-2972 FAX086-522-4077

研究を自分のものにする発表と質疑応答！

生徒1人ひとりが輝く
校内ポスター発表会
の開催手引き



岡山県立玉島高等学校



校内発表会で大切にしていること

研究成果の発表を通して発信力・プレゼンテーション力を、
質疑応答を通して対応力・コミュニケーション力を育成

研究発表会に向けて、これまでの研究過程を振り返り成果を整理しまとめることで、探究力の伸長と定着を図る。また、自分たちの研究成果を根拠を示しながら発表することで、プレゼンテーション力を育成し発信力を磨く。更に、質疑応答によってコミュニケーション力を育成し対応力を鍛える。

★マスクがあるから、その分より大きな声で

【発表者の視点】

- 原稿を読まず 自分の言葉で
- 「話す」ではなく 「伝える」を意識
- 発表中は勿論、前後も聴いてもらうという 気持ちと態度で

【聴き手の視点】

- 発表を聴いたお礼は 的を得た質問
- 目で見て、耳で聴き 全身で発表を 受け止める
- 聴かせてもらう態度で

★声は上に流れるから、
体育館ではその分より大きな声で

ポスター発表会までの準備資料

- 実施要項・プログラム
- 概要集またはタイトル一覧表
- 準備・当日のタイムスケジュール
- 発表用ポスター
(参照「ポスターの作り方」リーフレット)
- 発表練習
(参照「ポスター発表の仕方」リーフレット)
- 会場図
- 振り返りシート

ポスター発表会当日の準備物

- 段ボール板(200mm×100mm)
・2重、縦目、厚さ8mm ・約340円/枚(本校購入時)
- マスキングテープ(ポスター用)
- 養生テープ(段ボール板用)
- ポスター番号札
- 審査&アドバイスカード入れ封筒
- 審査&アドバイスカード
- 大型タイマー(または、液晶プロジェクターとスクリーンで拡大)
- ポータブルスピーカー&マイク

事前

□実施要項・プログラム : 実施日時・実施場所・発表時間等を決める

①学校の場合、体育館(第二体育館があれば両方)を会場にすると、会場数が減り運営上の管理負担を軽減できる。ただし、発表会は年度の後半に開催されるケースが多く、寒さ対策が求められる。音が大きな暖房器具は不適であり、防寒着の着用等で対応する方がよい。

②体育館の場合、天井が高いので、声が上方に流れて小さくなり聞き取りにくくなる。マスクを着用していると、より一層声が小さくなり聞き取りにくくなるので、より大きな声で発表することが必要である。



【発表時間】

①発表(5分) → ②質疑応答(2分) → ③移動・アドバイスシート記入(2分)

●大きなホールがあれば、天井が低いので、声が逃げにくく聞こえやすくなる。暖房器具としても、エアコンが設置されており静音環境を整えることができる。

事前

□概要集またはタイトル一覧表 : 事前に興味を惹かれる研究を見つける

③「研究分野」「タイトル」をまとめた一覧表を事前に作成する。聴き手が聴きに行くポスター発表を決めるため、興味を惹かれる研究を見つける。「概要」も載せてあると、研究内容が把握しやすい。

タイトル一覧表

No.	Gr	分野	組	班	タイトル
43	2B	保健・医療	理	4	注意を引く色は何色? What color catches your attention?
47	4B	物理・工	理	8	音の削減
57	9B	化学	理	18	ビタミンCの保存～避難所に届けるためには～

概要集(概要付きタイトル一覧表)

No.	Gr	分野	組	班	タイトル
57	9B	化学	理	18	ビタミンCの保存～避難所に届けるためには～

概要

近年、自然災害の規模が大きくなり、避難所生活が長期化し体調を崩す人が増えている。多種多様なサプリメントが商品化されているが、食を通じた栄養補給が必要である。そこで、野菜からビタミンCを効果的に摂取できる方法を研究した。そして、ビタミンCを壊しにくい保存方法を見つけた。

【概要】①興味をきっかけ②研究の現状

③自分たちの研究内容④自分たちの研究成果

□タイムスケジュール : 準備から当日のタイムスケジュールを立て共有する

④主には、事前:発表用ポスターの提出,当日:発表順,事後:振り返り を計画する必要がある。当日の発表順については、発表数に応じて考える。

発表パターン① : (発表5分+質疑応答2分+記入・移動2分)×5回

- ◎1グループの人数が多い場合、1回2人で発表して10人まで発表できる。ただし、発表内容は1人半分だけ。
- ◎1グループの人数が5名までの場合、1人で全部発表できた上で1人1回ずつ発表できる。
- ◎このとき、発表は1人でも、補助者1人とペアを組み質疑応答は協働で対応すると安心して発表できる。
- ☆発信力のスキルアップを考えるなら、このパターンが相応しい。決められた時間での発表に向けて発表準備して、それを実践することが大きな学びである。質疑の時間もしっかりと確保されて対応力も鍛えられる。

発表パターン② : (発表時間を固定しない。時間内なら、何度でも発表)

- ◎発表回数が増やすことが目的なら、このパターンになります。
- ☆学会や大学生の研究発表会では、このパターンが多い。研究成果について、納得いくまで議論を交わせる利点がある。

事前(数日前までの準備):

- ①発表用ポスターの提出
- ②発表会の生徒係の決定

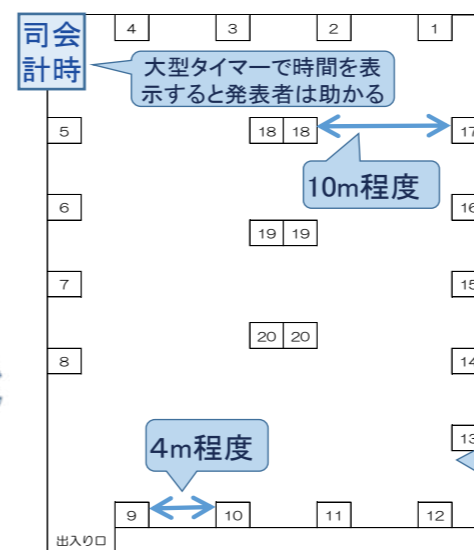
係	人数	役割内容
グループ内係	班長 1名	・班員への連絡・指導 ・発表順の決定
	準備 2名	・発表ポスターの貼付 ・貼付段ボール板設置
	片付け 2名	・発表ポスターの剥がし ・貼付段ボール板撤去
全体係	司会 2名	・開・閉会式と発表の進行
	計時 2名	・発表時間の管理と連絡
	片付け 全員	・会場の復旧

当日・事後

校時	時刻	内容	場所		
1~2	8:30~10:10	練習 発表ポスターを段ボール板に貼付、発表練習	各ホームルーム		
	10:20	準備 発表ポスターを会場設置、発表練習	各会場準備後		
	10:50	開会行事	体育館		
	11:05	移動 理系グループは第2体育館へ移動・準備			
3~4限	11:20~11:27	①ポスター発表【A-1回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)	文系:体育館 理系:第2体育館		
	11:29~11:36	②ポスター発表【A-2回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	11:38~11:45	③ポスター発表【B-1回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	11:47~11:54	④ポスター発表【B-2回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
昼休み	12:00~12:45	昼食・休憩	各ホームルーム		
	12:45	移動 文系は体育館・理系は第2体育館へ集合			
	12:50~13:10	ポスター発表準備・練習			
5~6限	13:15~13:22	⑤ポスター発表【A-3回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)	文系:体育館 理系:第2体育館 (⑥と⑦間で10分休憩)		
	13:24~13:31	⑥ポスター発表【B-3回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	13:41~13:48	⑦ポスター発表【A-4回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	13:50~13:57	⑧ポスター発表【A-5回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	13:59~14:06	⑨ポスター発表【B-4回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	14:08~14:15	⑩ポスター発表【B-5回目】(発表5分、質疑応答2分) 審査&アドバイスカード記入投票・移動(2分)			
	14:20	閉会行事(文系:体育館、理系:第2体育館)			
	14:25	体育館、第2体育館の片付け			
	7限	14:35~15:20		振り返り	各ホームルーム

□会場図

: プレゼンしやすい会場をつくる



会場図(体育館の場合)

□振り返りシート

: 研究活動を次に生かす

【ポスターの設置】

1カ所の段ボール板に、2枚のポスターを設置し時間で交代させる。「6」番に6Aと6Bの2つのポスター

【振り返り】

- ◎審査&アドバイスシートの集計・分析
- ◎グループで、研究全体を通して改善点、身についた力、反省点を協議

事後

審査&アドバイスカード

☆**優れている**と思った項目に○をつけ、○の個数の合計を記入（該当しない場合は○が無くてもよい）

ポスター番号 (分野・班)	テーマ	ポスター	発表技能	調査実証	分析考察	合計

○の基準

- <ポスター> ポスターの完成度（生データや調査の羅列でなく、表にまとめたりグラフ化されている、わかりやすい等）
- <発表技能> 発表コミュニケーション力（順序よくわかりやすい説明等）が高い
- <調査実証> 適切な調査（実験）がなされ、探究の裏付けや実証ができています
- <分析考察> 探究した内容に関する分析が十分されており、分析を基に自分たちの意見や提言が示されている

内容メモ

アドバイス

審査&アドバイスカード

☆**優れている**と思った項目に○をつけ、○の個数の合計を記入（該当しない場合は○が無くてもよい）

ポスター番号 (分野・班)	テーマ	ポスター	発表技能	調査実証	分析考察	合計

○の基準

- <ポスター> ポスターの完成度（生データや調査の羅列でなく、表にまとめたりグラフ化されている、わかりやすい等）
- <発表技能> 発表コミュニケーション力（順序よくわかりやすい説明等）が高い
- <調査実証> 適切な調査（実験）がなされ、探究の裏付けや実証ができています
- <分析考察> 探究した内容に関する分析が十分されており、分析を基に自分たちの意見や提言が示されている

内容メモ

アドバイス

ポスター発表会 振り返りシート（グループ）

（ ）組または分野 （ ）班

テーマ （ ）

メンバー （ ）

(1) 発表会での成果をあげてみよう（良かった点，身についた力等）

(2) 審査&アドバイスカードの総数と○の数を集計し、表に数を記入しよう

アドバイスカード総数	ポスター	発表技能	調査実証	分析考察

(3) 審査&アドバイスカードに書いてあった項目を書き出そう

(4) グループで話し合い，審査&アドバイスカードに書いてあったことを参考にして良かった点・悪かった点を書きだそう（客観的な視点をふまえることが大切です）

(5) (4)の良かった点・悪かった点を参考に，グループのテーマをさらに発展させていくとすれば，どのような改善ができるか話し合ってみよう

(6) もう一度，課題研究をしたら，今回の探究活動をふまえてどのような点に留意して実施しようと思いますか。